

道路事業の再評価説明資料

〔国道８号 小松バイパス〕

平成２７年９月

北陸地方整備局

目 次

1. 事業概要		
(1) 事業目的	P	1
(2) 計画概要	P	2
2. 現在に至る経緯	P	3
3. 事業費の見直し	P	4
4. 当該道路の役割・効果	P	5
(1) 3便益に係る整備効果	P	7
① 走行時間の短縮	P	7
② 交通事故件数の減少	P	9
(2) その他の効果	P	10
① 日常生活圏の各都市間の連携強化	P	10
② 物流の円滑化	P	11
③ 主要な観光地へのアクセス向上	P	12
④ 緊急輸送道路としての機能向上	P	13
⑤ 地域連携プロジェクト（石川県長期構想）の支援	P	14
5. 費用対効果	P	15
6. 対応方針（原案）	P	16
参考資料	P	17

1. 事業概要

(1) 事業目的

当事業は、

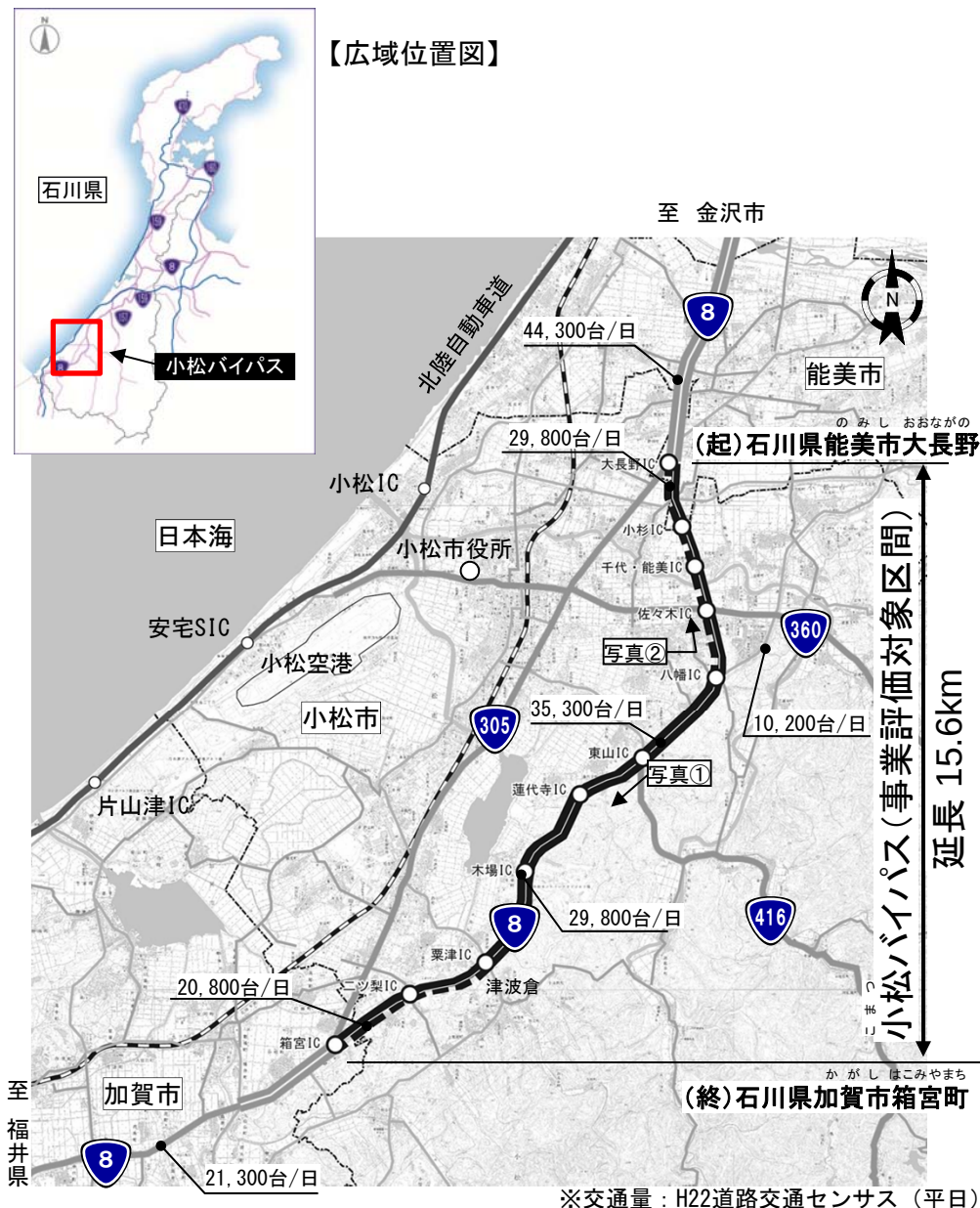
- 交通混雑の解消、交通事故の低減
 - 広域幹線ネットワークの強化 など
- を目的とし、国道8号の能美市大長野～加賀市箱宮町（延長15.6km）について、4車線化整備を行うものである。



写真①：東山ICより福井方面を望む



写真②：佐々木ICより金沢方面を望む

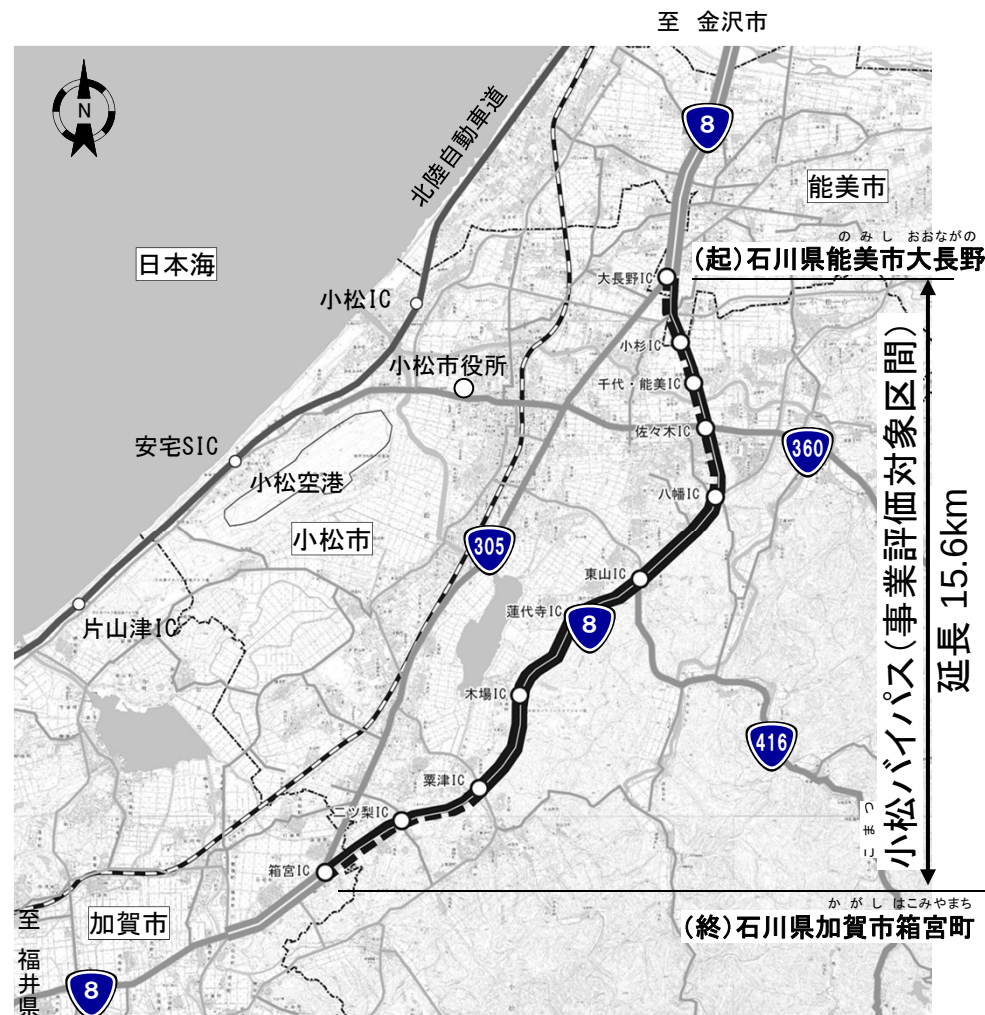
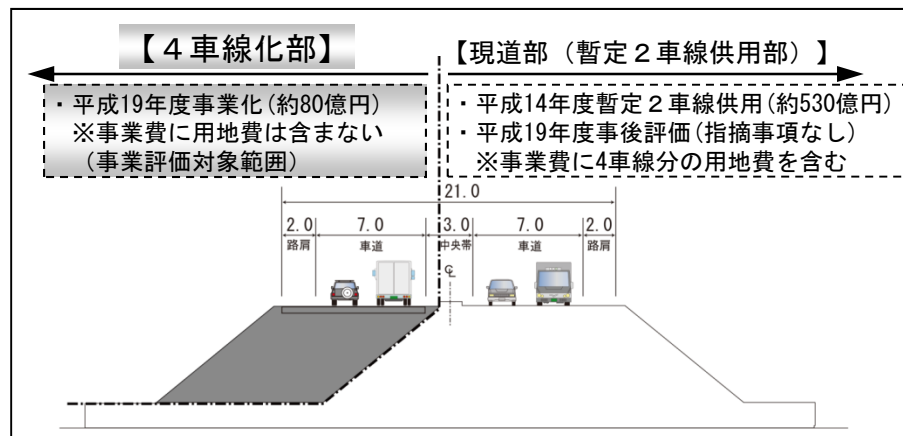


1. 事業概要

(2) 計画概要

路線名	国道8号
事業名	国道8号 小松バイパス(4車線化)
延長	15.6km
起終点	(起)石川県能美市大長野 (終)石川県加賀市箱宮町
都市計画決定	昭和49年度
事業化	平成19年度
用地着手	—
工事着手	平成21年度
全体事業費	約80億円
平成27年度末までの投資額(予定)	54億円(進捗率67%)

【標準断面図】



2. 現在に至る経緯

(1)事業の経緯

年 度	主な経緯
昭和49年度	事業化
	都市計画決定
平成14年度	暫定2車線供用 (の み し おおながの か が し はこみやまち 能美市大長野～加賀市箱宮町間 15.6km)
平成19年度	暫定2車線事後評価（指摘事項なし）
	事業化（4車線化）
平成21年度	工事着手
平成24年度	事業再評価（指摘事項なし 継続）
	4車線化 (こまつし やわた こまつし ひがしやままち 小松市八幡～小松市東山町間 2.2km)
平成26年度	4車線化 (こまつし ひがしやままち こまつし つばくらまち 小松市東山町～小松市津波倉町間 5.1km)

(2)事業の進捗状況

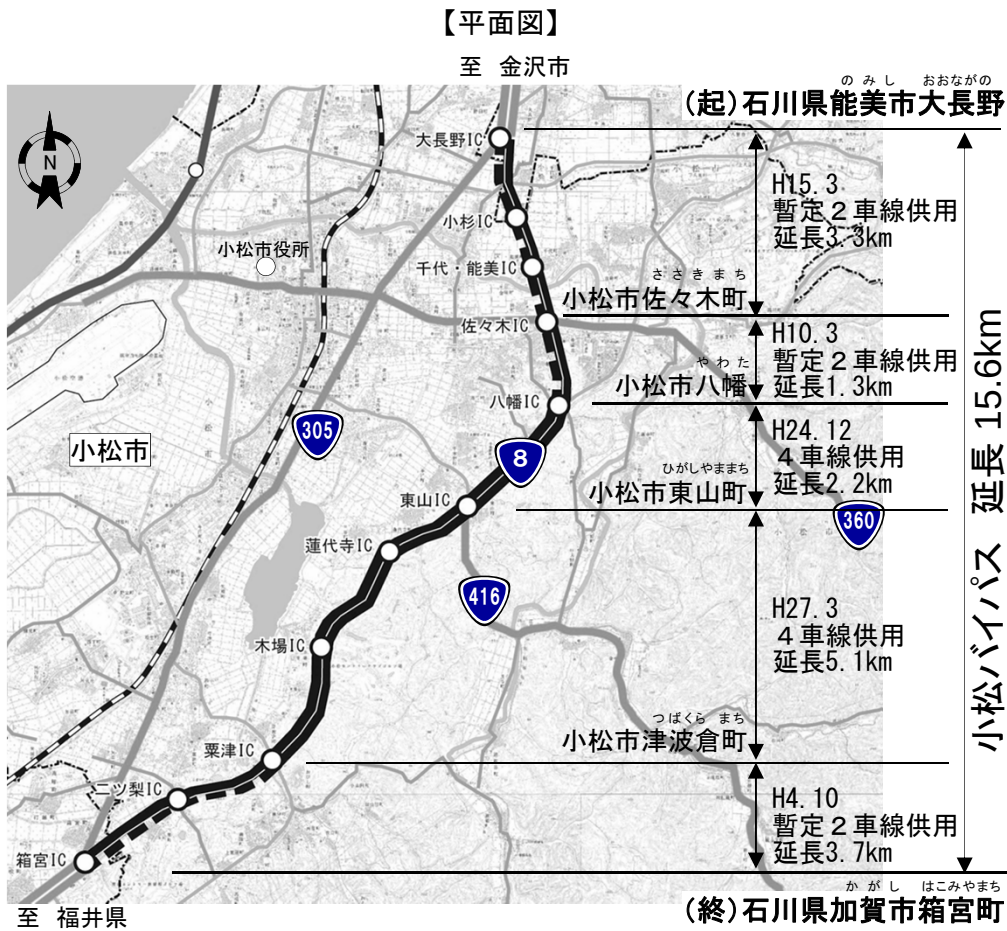
平成27年度末(予定)

	全体	執行済額	残事業費
事業費	80億円	54億円	26億円
うち用地費・ 補償費	—	—	—

※金額は税込み

(3) 今後の事業展開

●残る区間の4車線化については、交通状況等を勘案しつつ、早期の全線4車線化に向けて事業を推進する。



3. 事業費の見直し

[コスト増額内容: +20.0億円]

① 法面对策の追加 【+13.3億円】

○小松市八幡地区の切土について、詳細な地質調査の結果、締まりの緩い砂質土層と粘性土層の互層が確認され、法面对策が必要となり費用が増額となる。

② 盛土材改良の追加 【+7.7億円】

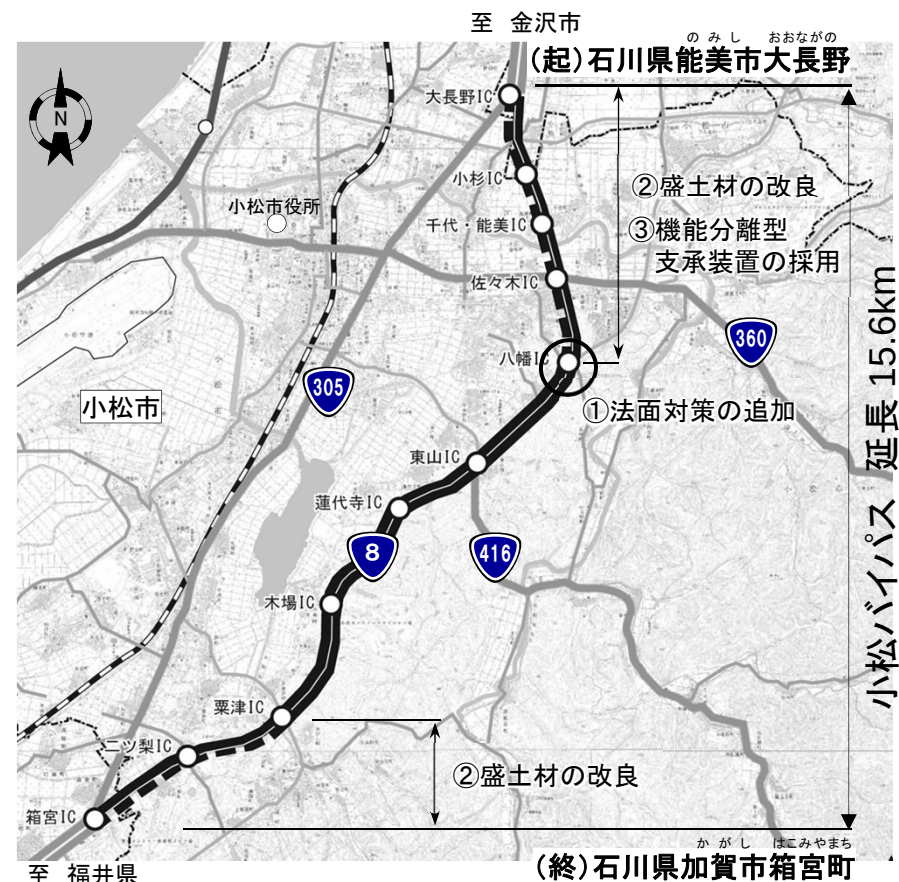
○能美市大長野～小松市八幡間及び小松市栗津～加賀市箱宮間については、他工区の発生土を活用する計画
○詳細な地質調査の結果、発生土が軟弱であることが判明したため、土質改良費が増額となる。

③ 機能分離型支承装置の採用 【▲1.0億円】

○橋梁の支承については、当初、I期線と同様の積層ゴム支承にて計画。
○近年、実績が増えている機能分離型支承装置(新技術)を採用することでコスト縮減を図る。

○見直し後の事業費 【コスト増額: +20億円】

	全体	執行済額	進捗率	残事業費
事業費	100億円	54億円	54%	46億円
うち用地費・補償費	—	—	—	—



4. 当該道路の役割・効果

〈3 便益に係る整備効果〉

① 走行時間の短縮（7, 8ページ）

- 小松バイパスの整備（4車線化）により、事業区間の走行時間が約7分（29%）短縮する。
- 小松バイパスの整備（4車線化）により、円滑な走行環境が確保され、事業区間における損失時間が年間約118.5万人時間削減される。また、走行時間の短縮による便益が年間42.9億円発生する。
- 供用後50年間の総便益は、割引率4%などを考慮すると752億円と算出される。

【走行時間短縮便益】

＝整備前総走行時間費用－整備後総走行時間費用
＝42.9（億円/年）※

※便益算定上の完成開通年次（H34年度）の便益

総走行時間費用＝ $\sum \sum$ [路線別車種別交通量（台/日）×路線別走行時間（分）
×車種別時間価値原単位（円/台・分）] ×365（日/年）

割引率
等を考慮

752億円
（残事業
333億円）

② 走行経費の減少

- 小松バイパスの整備（4車線化）により、走行経費減少による便益が年間4.5億円発生する。
- 供用後50年間の総便益は、割引率4%などを考慮すると80億円と算出される。

【走行経費減少便益】

＝整備前総走行経費－整備後総走行経費
＝4.5（億円/年）※

※便益算定上の完成開通年次（H34年度）の便益

総走行経費＝ $\sum \sum$ [路線別車種別交通量（台/日）×路線別延長（km）
×車種別走行経費原単位（円/台・km）] ×365（日/年）

割引率
等を考慮

80億円
（残事業
18億円）

③ 交通事故の減少（9ページ）

- 小松バイパスの整備（4車線化）により、通過交通の安全性が確保される。
- 小松バイパスの整備による事故件数の減少により、年間2.1億円の便益が発生する。
- 供用後50年間の総便益は、割引率4%などを考慮すると34億円と算出される。

【交通事故減少便益】

＝整備前の交通事故による社会的損失－整備後の交通事故による社会的損失
＝2.1（億円/年）※

※便益算定上の完成開通年次（H34年度）の便益

割引率
等を考慮

34億円
（残事業
7億円）

4. 当該道路の役割・効果

<その他の効果>

①日常生活圏の各都市間の連携強化（10ページ）

- 小松市及び加賀市と金沢方面と行き来する通勤者は、1日当たり約30,000人以上にのぼる。（小松市民及び加賀市民の就業者数のうち約2割が金沢方面へ通勤）
- 小松バイパスの4車線化により、毎日の通勤に要する時間が約7分短縮され、地域間の連携強化が期待できる。

②物流の円滑化（11ページ）

- 小松バイパスは大型車の交通が多く、加賀地域を通過する物流の大動脈となっている。
- 小松バイパス周辺市では企業の進出がみられており、工業従業者数も全線暫定2車線供用後において1～2割伸びているなど、雇用の増加が確認されている。
- 4車線化により幹線道路ネットワークの強化を図ることで、工業をはじめとした地域産業のさらなる活性化が期待できる。

③主要な観光地へのアクセス向上（12ページ）

- 小松バイパス周辺には、山代温泉・片山津温泉や道の駅「こまつ木場潟」などの多くの観光施設が存在している。
- 小松バイパスの整備により、各観光地や施設へのアクセス性・周遊性向上が期待される。
- また、小松バイパス沿線にある木場潟公園が、今年5月17日に開催された第66回全国植樹祭の式典会場に選ばれたことから、東山IC～粟津IC間については1年前倒しして4車線化供用を図り、円滑な輸送運営に寄与した。

④緊急輸送道路としての機能向上（13ページ）

- 小松バイパスは石川県の第一次緊急輸送道路に位置付けられている。
- 梯川が氾濫した場合、並行する国道305号は水没の恐れがあるが、高盛土構造である小松バイパスは浸水被害を受けないため、第一次緊急輸送道路としての機能が確保される。
- 小松バイパスの整備（4車線化）により、災害に強い道路ネットワークのさらなる強化が期待される。

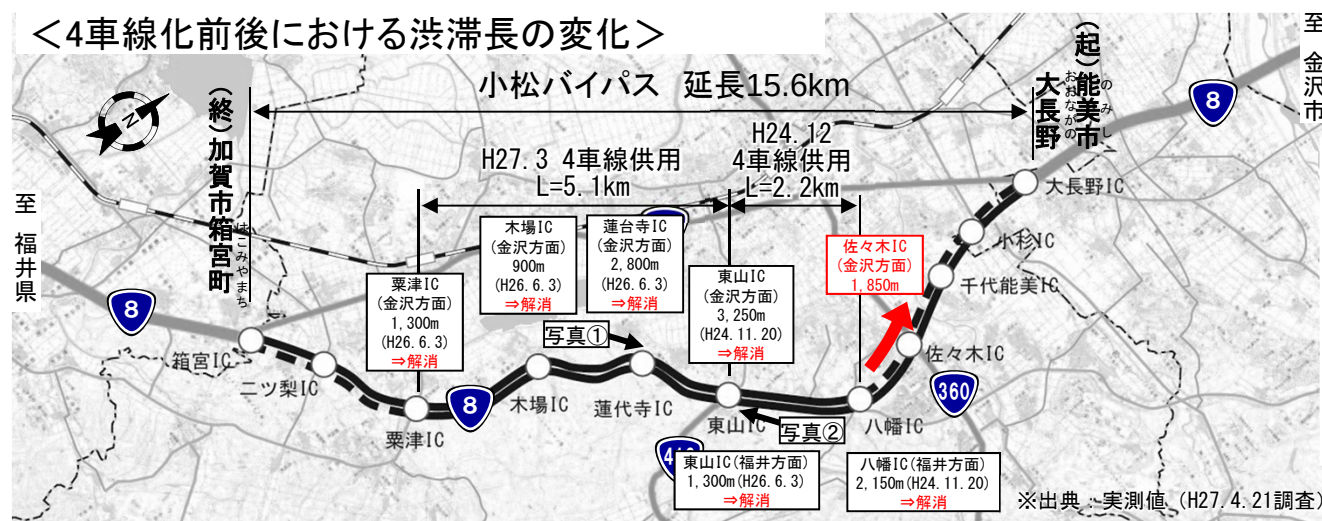
⑤地域連携プロジェクト（石川県長期構想）の支援（14ページ）

- 小松バイパスの整備により、加賀地域における南北の幹線ネットワークが強化が図られ、石川県の長期構想「ダブルラダー結いの道」整備構想の実現に大きく貢献。

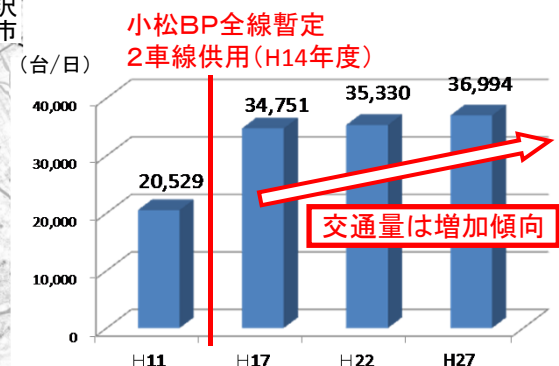
4. 当該道路の役割・効果

【参考】部分供用による整備効果

- 小松バイパスの交通量は、H14年度の全線暫定2車線供用により大きく増加し、以降も増加傾向にある。
- 小松バイパスは、通勤時を中心にICの合流部などにおいて交通混雑が発生していたが、順次4車線化整備を進めてきた区間では渋滞が解消。残る整備区間も安定した走行環境の実現に向けて4車線化を推進。



【日交通量の推移 (八幡IC～東山IC)】

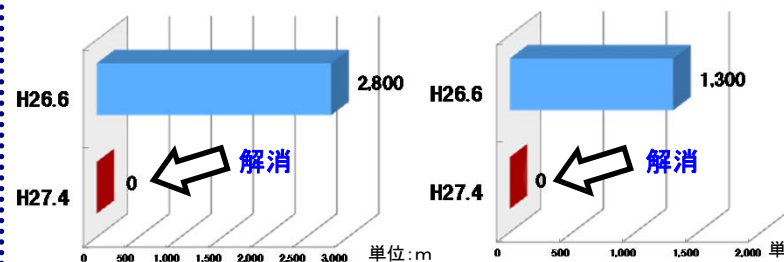


※出典：H11～22：道路交通センサス
H27：実測値 (H27.4～H27.6平日平均)

【4車線化による渋滞解消の効果事例】

- ・平成27年3月に東山IC～粟津IC間を4車線化供用
- ・東山IC及び蓮台寺IC付近にて発生していた渋滞が解消

【①蓮台寺ICにおける渋滞長 (金沢方向)】 【②東山ICにおける渋滞長 (福井方向)】



※出典：H26.6.3実測調査およびH27.4.21実測調査

【写真①：蓮台寺ICにおける渋滞状況】



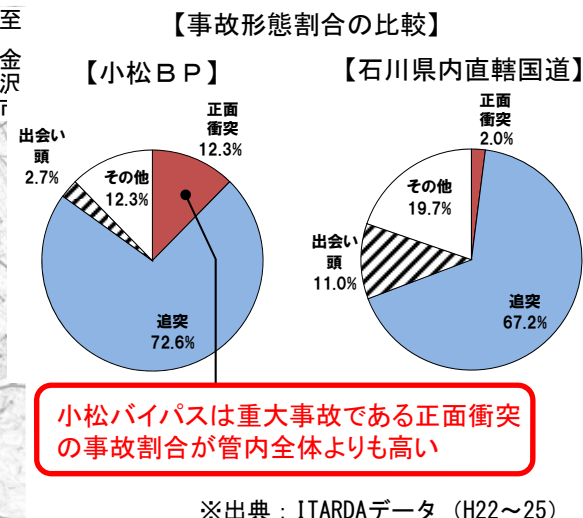
【写真②：東山ICにおける渋滞状況】



4. 当該道路の役割・効果

② 交通事故件数の減少

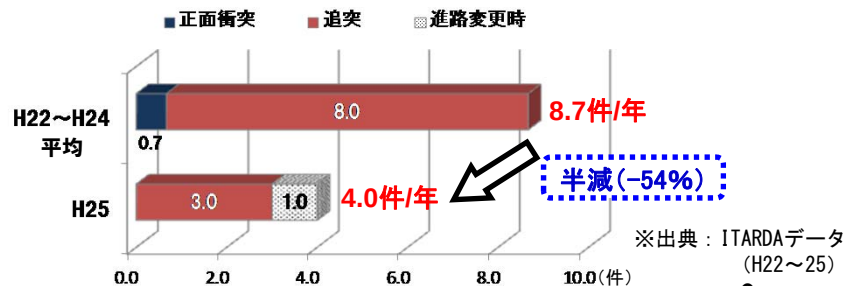
- 小松バイパスで発生する事故のうち、約7割は追突事故が占めている。
- また、正面衝突の割合が約10%以上と高く、県内直轄国道の平均割合と比較して約6倍となっている（県内直轄国道で2.0%に対し、小松バイパス区間では12.3%）。
- 小松バイパスの整備（4車線化）による交通混雑の緩和や中央分離帯の設置により、安全な走行環境が確保され、事業区間における事故の減少が期待される。



【小松バイパス整備（4車線化）による整備効果（八幡IC～東山IC間の事例）】

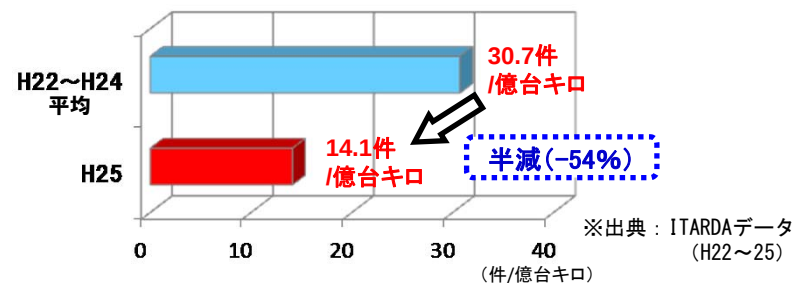
【死傷事故件数】

- ・主な発生事故である追突が約6割減少し、重大事故である正面衝突は解消。



【死傷事故率】

- ・交通量は増加傾向であるが、死傷事故率は半減。



4. 当該道路の役割・効果

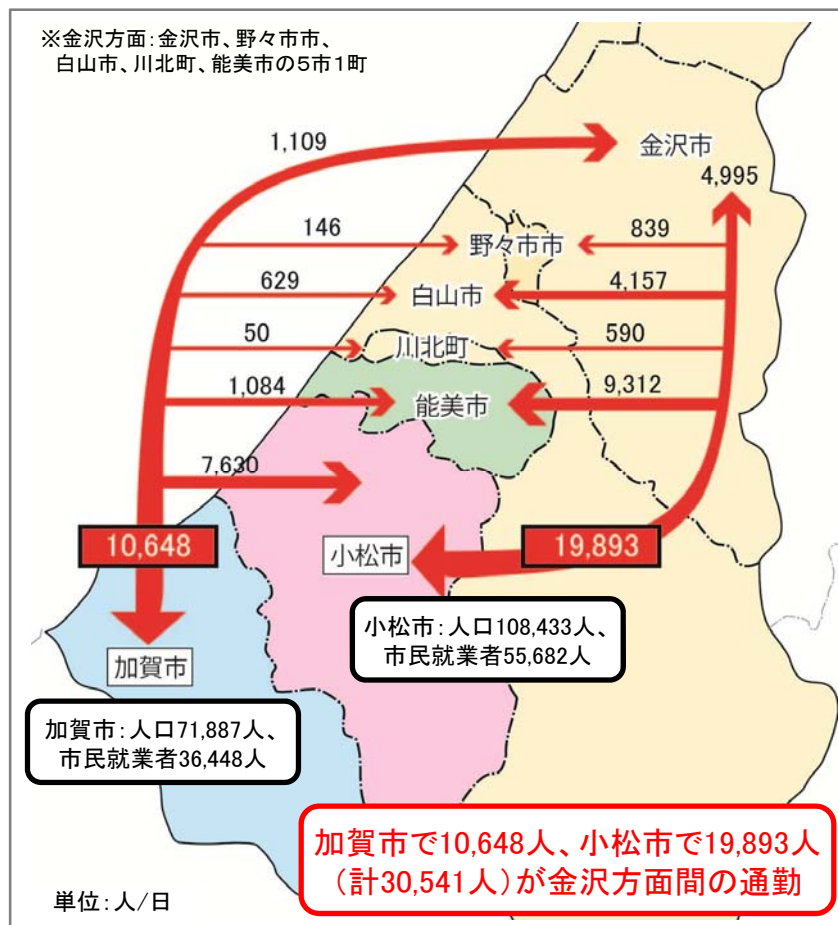
(2) その他の効果

① 日常生活圏の各都市間の連携強化

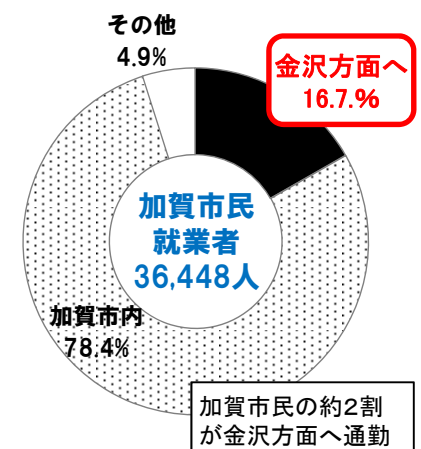
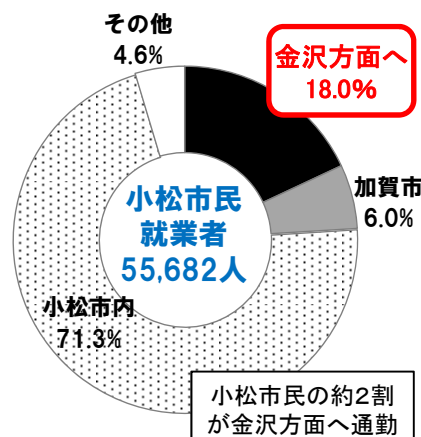
○小松市及び加賀市と金沢方面と行き来する通勤者は、1日当たり約30,000人以上にのぼる。（小松市民及び加賀市民の就業者数のうち約2割が金沢方面へ通勤）

○小松バイパスの4車線化により、毎日の通勤に要する時間が7分短縮され、地域間の連携強化が期待できる。

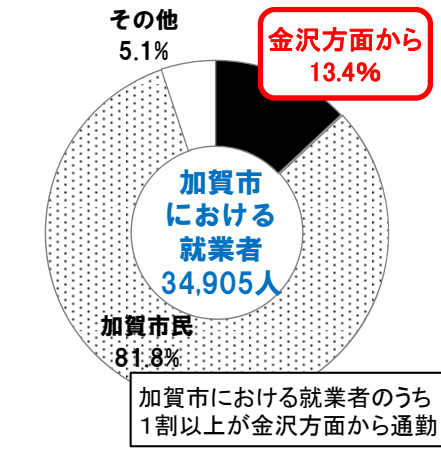
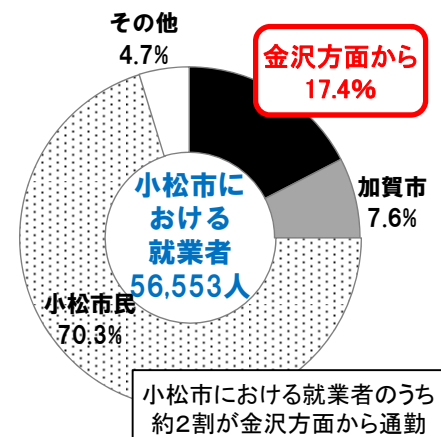
【小松市・加賀市と金沢市方面との通勤状況】



【小松市・加賀市民就業者の通勤先】



【小松市・加賀市における就業者の住居】



4. 当該道路の役割・効果

②物流の円滑化

- 小松バイパスは大型車の交通が多く、加賀地域を通過する物流の大動脈となっている。
- 小松バイパス周辺市では企業の進出がみられており、工業従業者数も全線暫定2車線供用後において1～2割伸びているなど、雇用の増加が確認されている。
- 4車線化により幹線道路ネットワークの強化を図ることで、工業をはじめとした地域産業のさらなる活性化が期待できる。



【周辺工業団地の状況】



【能美工業団地の状況】

平成20年から分譲開始。

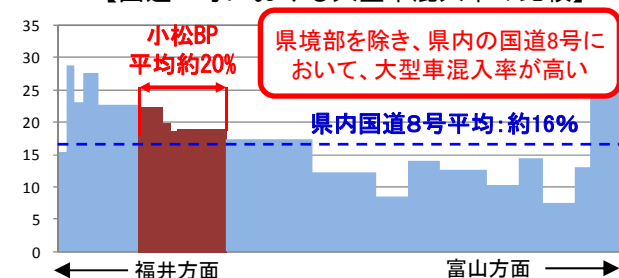
○日本ガイシ(株)：平成23年操業開始、10.9ha

(セラミック技術のグローバル会社、国内2店目)

○(株)PALTAC：平成25年操業開始、3.1ha

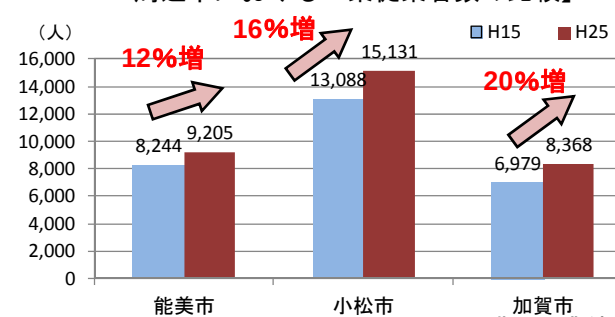
(化粧品や医療品を扱う業界最大手の卸売事業者)

【国道8号における大型車混入率の比較】



※出典：道路交通センサス (H22)

【全線暫定2車線供用後の小松バイパス周辺市における工業従業者数の比較】



※出典：工業統計

【行政（企業誘致関連）の声】



能美市の企業は関西圏・中京圏と取引が多く、8号沿いの工場は小松バイパス経由で搬送するルートが多い。

現在分譲中の能美工業団地についても、企業の関心は交通便利性に対するものが多く、バイパス沿いという立地条件に対する問い合わせが多い。

※能美市企業誘致推進室ヒアリング結果 (H27.7.16) より

4. 当該道路の役割・効果

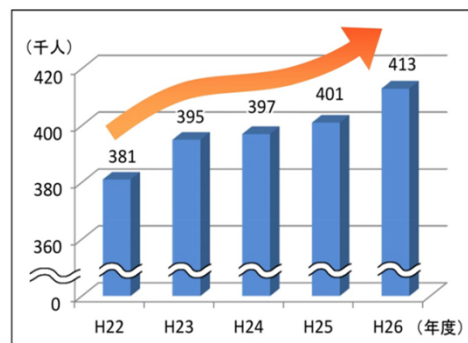
③主要な観光地へのアクセス向上

- 小松バイパス周辺には、山代温泉・片山津温泉や道の駅「こまつ木場湯」などの多くの観光施設が存在している。
- 小松バイパスの整備により、各観光地や施設へのアクセス性・周遊性向上が期待される。
- また、小松バイパス沿線にある木場湯公園が、今年5月17日に開催された第66回全国植樹祭の式典会場に選ばれたことから、東山IC～栗津IC間については1年前倒しして4車線化供用を図り、円滑な輸送運営に寄与した。



※出典：データ：統計からみた石川の観光、写真：石川県観光連盟提供の素材集より

【道の駅「こまつ木場湯」における入込客数の推移】



※出典：小松市経済観光文化農林水産課より

小松バイパスに隣接する道の駅「こまつ木場湯」では、H22年4月完成以降入込客数が年々増加しており、今後もさらなる集客が期待できる。

【第66回全国植樹祭式典 いしかわ2015】



平成27年5月17日、木場湯公園で第66回全国植樹祭式典が開催。

植樹会場には木場湯公園のほか「憩いの森」が、雨天時会場は「こまつドーム」など、アクセス性の高い小松B.P.沿道の場所が選定。

式典会場(木場湯公園)

【式典会場の選定基準表(抜粋)】

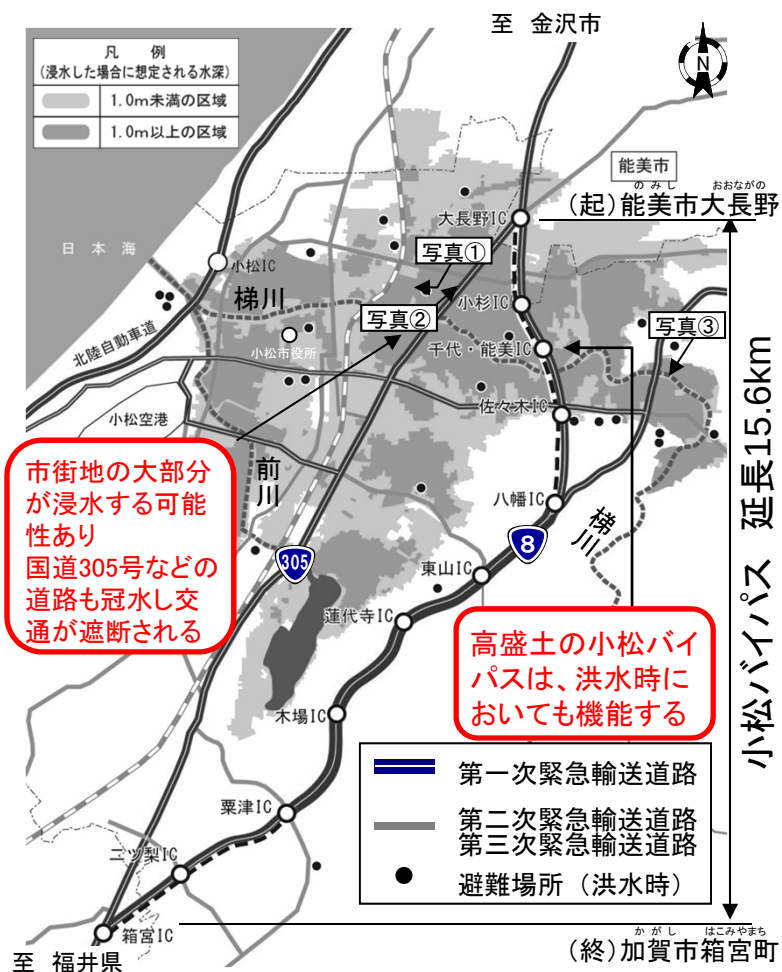
お泊まり所等から式典会場へのアクセスの容易性	参加者宿泊所アクセス	県外参加者の宿泊先から、式典会場までの移動時間(60分以内を目安)
	通行ルート道路事情	行幸啓車列及び大型バスの通行ルート(道路事情)に支障はないか
緊急時の対応及びセキュリティの容易性		緊急事態発生時等に使用可能なアクセス道(迂回路)や通信の確保

※出典：第66回全国植樹祭会場決定協議資料(H25.2石川県)

4. 当該道路の役割・効果

④緊急輸送道路としての機能向上

- 小松バイパスは石川県の第一次緊急輸送道路に位置付けられている。
- 梯川が氾濫した場合、並行する国道305号は水没の恐れがあるが、高盛土構造である小松バイパスは浸水被害を受けないため、第一次緊急輸送道路としての機能が確保される。
- 小松バイパスの整備（4車線化）により、災害に強い道路ネットワークのさらなる強化が期待される。



※出典：梯川ハザードマップ（H21.6小松市作成）、小松市地域防災計画



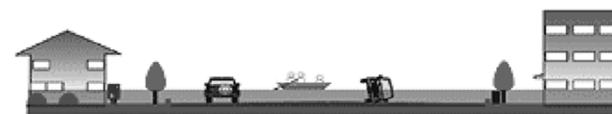
写真①：平成10年9月の梯川の増水状況



写真②：平成16年10月の梯川の内水氾濫



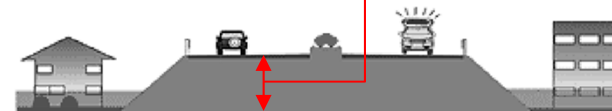
写真③：平成25年9月の梯川の内水氾濫



冠水しやすい旧道（国道305号）



高盛土：5.5m以上
1.0～3.0mの浸水でも
冠水せず道路機能を
維持できる



冠水しにくい高盛土の小松バイパス

4. 当該道路の役割・効果

⑤地域連携プロジェクト(石川県長期構想)の支援

○小松バイパスの整備により、加賀地域における南北の幹線ネットワークが強化が図られ、石川県の長期構想「ダブルラダー結いの道」整備構想の実現に大きく貢献。

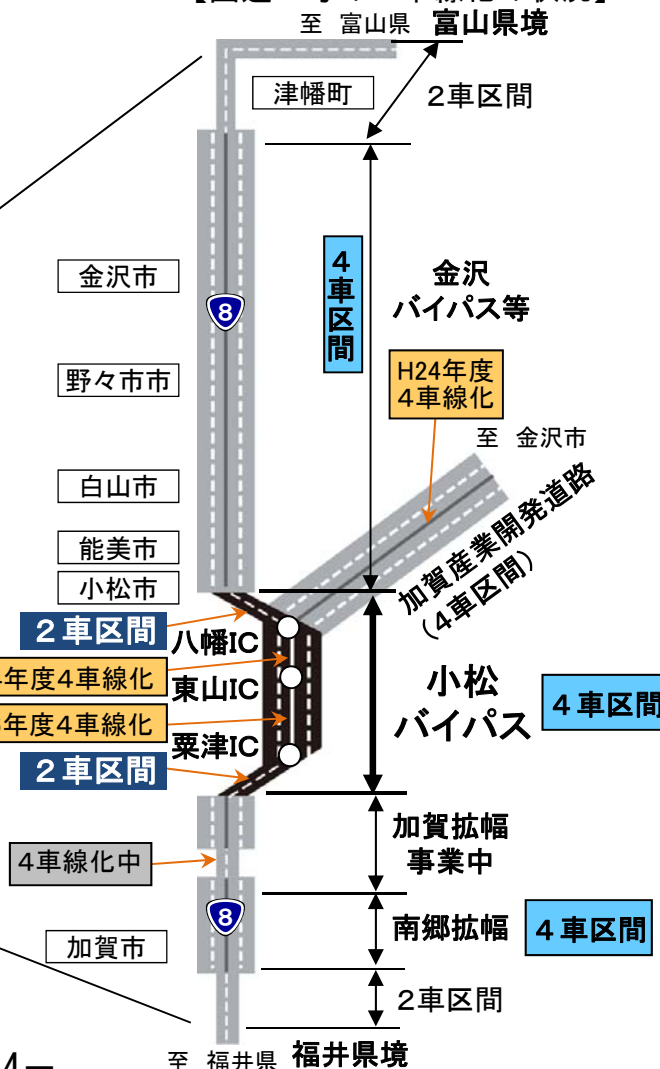
【「ダブルラダー結いの道」整備構想図】



※「ダブルラダー結いの道」整備構想

平成19年3月、県の新長期構想の改定に合わせて策定した構想。南北幹線の複線化と東西幹線の多重化を進め、2本のはしご(ラダー)状道路ネットワークの形成等をうたった構想。

【国道8号の4車線化の状況】



5. 費用対効果

- ・事業費：100億円
- ・基準年における費用及び便益の現在価値
現在価値算出のための割引率：4%
基準年次：平成27年度
検討年数：50年

<費用>

基準年における現在価値		事業費	維持管理費
事業全体	170億円	96億円	75億円
残事業	70億円	37億円	33億円

<3便益による費用便益比>

費用便益比 (B/C)	
事業全体	867億円 / 170億円 = 5.1
残事業	358億円 / 70億円 = 5.1

- ・将来道路網：現在の一般県道以上の道路網を基本に、平成27年4月時点で事業化済みの計画路線を対象にした道路網である。

<3便益>

基準年における現在価値		走行時間短縮便益	走行経費減少便益	交通事故減少便益
事業全体	867億円	752億円	80億円	34億円
残事業	358億円	333億円	18億円	7億円

- 注) 1. 便益・費用については、基準年における現在価値後の値である。
 2. 費用及び便益額は整数止めとする。
 3. 費用及び便益額の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。
 4. 便益の算定については、「将来交通需要推計手法の改善について【中間とりまとめ】」に示された第二段階の改善を反映している。

<その他の効果>

小松バイパスの役割	具体的内容
① 日常生活圏の各都市間の連携強化	● 小松市・加賀市と金沢方面との地域間の連携強化が期待される。
② 物流の円滑化	● 工業をはじめとした地域産業のさらなる活性化が期待できる。
③ 主要な観光地へのアクセス向上	● 木場潟公園をはじめとした各観光地へのアクセス性・周遊性が向上。
④ 緊急輸送道路としての機能向上	● 浸水被害を受けない小松バイパスの整備により、災害に強い道路ネットワークのさらなる強化が期待される。
⑤ 地域連携プロジェクト(石川県長期構想)の支援	● 石川県の長期構想である「ダブルラダー 結いの道」整備構想の実現に大きく貢献。

6. 対応方針（原案）

(1) 事業の必要性等に関する視点

- 小松バイパスは、平成14年度までに全線暫定2車線で整備されたアクセスコントロールされた道路であるが、朝のピーク時を中心に交通混雑が発生しているほか、中央分離帯がないことに起因する正面衝突事故の割合も県内直轄国道の平均と比べて高く、安全かつ快適な走行環境を確保する必要がある。
- 小松バイパスの4車線化整備により、物流円滑化による地域産業の活性化、各観光地へのアクセス向上、災害に強い道路ネットワークのさらなる強化など、期待される整備効果は多岐にわたっている。
- 3便益の費用便益比は、事業全体で5.1、残事業で5.1となる。

(2) 事業進捗の見込みの視点

- 用地は取得済みであり、現在までに事業は約54%が完了。平成26年度までに小松市八幡～同栗津間（延長7.3km）の4車線化で供用済みであり、地元首長及び周辺市町からも整備推進の要望が強い。
- 残る区間の4車線化については、交通状況等を勘案しつつ、早期の全線4車線化に向けて事業を推進する。

(3) コスト縮減からの視点

- 施工にあたっては、新技術の活用によりコスト縮減を実施する。

(4) 対応方針（原案）

対応方針（原案） 事業継続
（理由）

- 小松バイパスは、新潟市から京都市に至る国道8号のうち、能美市大長野～加賀市箱宮町までの延長15.6kmを結ぶ道路であり、広域ネットワークの一部を構成する重要な役割を担っている。
- 小松バイパスの4車線化により、交通混雑の緩和、交通事故の低減、広域幹線ネットワークの強化による物流の円滑化、観光地へのアクセス向上、緊急輸送道路としての機能向上など、多様な効果が見込まれるため事業を継続する。

客觀的評價指標抽出資料

【一般国道（二次改築）】

- 事業採択時の前提条件を確認するための指標

前提条件	(1) 事業の効率性	■便益が費用を上回っていること
------	------------	---

- 事業の効果や必要性を評価するための指標

I. 活力	(1) 円滑なモビリティの確保	●現道等の年間渋滞損失時間(人・時間)及び削減率
		■ 現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される。
		□ 現道又は並行区間等における踏切交通遮断量が10,000台時/日以上の踏切道の除却もしくは交通改善が期待される。
		□ 現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する。
		□ 新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上が見込まれる。
	(2) 物流効率化支援	□ 第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる。
		□ 重要港湾もしくは特定重要港湾へのアクセス向上が見込まれる。
		□ 農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性向上が見込まれる。
		□ 現道等における、総重量25tの車両もしくはISO規格背高海上コンテナ輸送車が通行できない区間を解消する。
	(3) 都市の再生	□ 都市再生プロジェクトを支援する事業である。
	(4) 国土・地域ネットワークの構築	□ 広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する。
		□ 市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり。
		□ 中心市街地内で行う事業である。
		□ 幹線都市計画道路網密度が1.5km/km²以下である市街地内での事業である。
		□ DID区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する。
	(5) 個性ある地域の形成	□ 対象区間が現在連絡道路がない住宅地開発(300戸以上又は16ha以上、大都市においては100戸以上又は5ha以上)への連絡道路となる。
		□ 高速自動車国道と並行する自専道(A'路線)の位置づけあり。
		□ 地域高規格道路の位置づけあり。
		□ 当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する。(A'路線として位置づけがある場合)
		■ 当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する。
		□ 現道等における交通不能区間を解消する。
		□ 現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する。
		□ 日常活動圏中心都市へのアクセス向上が見込まれる。
		□ 鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地区を解消する。
		□ 拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する。
		■ 主要な観光地へのアクセス向上が期待される。
		□ 新規整備の公共公益施設へ直結する道路である。

Ⅱ. 暮らし	(1) 歩行者・自転車のための生活空間の形成	☐ 自転車交通量が500台/日以上、自動車交通量が1,000台/12h以上、歩行者交通量が500人/日以上との全てに該当する区間において、自転車利用空間を整備することにより、当該区間の歩行者・自転車の通行の快適・安全性の向上が期待できる。 ☐ 交通バリアフリー法に基づく重点整備地区における特定経路を形成する区間が新たにバリアフリー化される。
	(2) 無電柱化による美しい町並みの形成	☐ 対象区間が電線類地中化5ヶ年計画に位置づけあり。 ☐ 市街地又は歴史景観地区(歴史的風土特別保存区域及び重要伝統的建造物保存地区)等の幹線道路において新たに無電柱化を達成する。
	(3) 安全で安心できる暮らしの確保	☐ 三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる。
Ⅲ. 安全	(1) 安全な生活環境の確保	☐ 現道等に死傷事故率が500件/億台キロ以上である区間が存在する場合において、交通量の減少、歩道の設置又は線形不良区間の解消等により、当該区間の安全性の向上が期待できる。 ☐ 当該区間の自動車交通量が1,000台/12h以上(当該区間が通学路である場合は500台/12h以上)かつ歩行者交通量100人/日以上(当該区間が通学路である場合は児童、園児が40人以上)の場合、又は歩行者交通量500人/日以上の場合において、歩道が無い又は狭小な区間に歩道が設置される。
	(2) 災害への備え	☐ 近隣市へのルートが1つしかなく、災害による1～2カ箇所での道路寸断で孤立化する集落を解消する。 ☒ 対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業5箇年計画に位置づけのある路線(以下「緊急輸送道路」という)として位置づけあり。 ☐ 緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する。 ☐ 並行する高速ネットワークの代替路線として位置づけがある場合)
		☐ 現道等の防災点検又は震災点検要対策箇所もしくは架替の必要ある老朽橋梁における通行規制等が解消される。 ☐ 現道等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間を解消する。
Ⅳ. 環境	(1) 地球環境の保全	☒ 対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量
	(2) 生活環境の改善・保全	☒ 現道等における自動車からのNO2排出削減率 ☒ 現道等における自動車からのSPM排出削減率 ☐ 現道等で騒音レベルが夜間が夜間要請限度を超過している区間について、新たに要請限度を下回ることが期待される区間がある。
		☐ その他、環境や景観上の効果が期待される。 ☐ 関連する大規模道路事業と一体的に整備する必要あり。
Ⅴ. その他	(1) 他のプロジェクトとの関係	☒ 他機関との連携プログラムに位置づけられている。
	(2) その他	☐ その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が期待される。

※○印の指標は定量的な記述により効果を確認する。

□印の指標については定性的又は定量的な記述により効果の有無を確認する。

※●、■は該当する指標を示す。

○再評価実施時点における評価指標該当項目の内容

前提条件

(1) 事業の効率性

B／C＝5. 1 (事業全体の3便益による費用対効果)
B／C＝5. 1 (残事業の3便益による費用対効果)

I. 活 力

(1) 円滑なモビリティの確保

・事業区間における損失時間削減率＝約68%
(現状：175.3万人時間/年 → 整備あり：56.8万人時間/年) **【P8で詳述】**

(4) 国土・地域ネットワークの構築

・各都市間の通勤などの利便性が向上する。 **【P10で詳述】**
・周辺の工業団地をはじめとした、地域産業のさらなる活性化が期待される。 **【P11で詳述】**

(5) 個性ある地域の形成

・主要な観光地へのアクセス性及び周遊性の向上が期待される。 **【P12で詳述】**

Ⅲ. 安全

(2) 災害への備え

・第一次緊急輸送道路としての位置づけあり。 **【P13で詳述】**

Ⅳ. 環境

(1) 地球環境の保全

・費用便益分析対象エリアのCO₂排出量の削減量＝5,780.8t-CO₂/年
(整備なし1,071,451.0t-CO₂/年 → 整備あり1,065,670.2t-CO₂/年)

(2) 生活環境の改善・保全

・費用便益分析対象エリアのNOx排出量の削減量＝40.2t-NOx/年
(整備なし 3,583.0t-NOx/年 → 整備あり3,542.8t-NOx/年)
・費用便益分析対象エリアのSPM排出量の削減量＝3.9t-SPM/年
(整備なし 318.6t-SPM/年 → 整備あり314.7t-SPM/年)

V. その他

(1) 他のプロジェクトとの関連

・石川県の長期構想(「ダダルラダー結いの道」整備構想)に位置付けられた道路であり、
南北に長い石川県の連携向上が図られる。 **【P14で詳述】**

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・B.P.・その他の別
国道8号	小松バイパス	L=15.6km	二次改築	現拡

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
24,000～38,200	4	北陸地方整備局

① 費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年	平成27年度		
単純合計	94億円	180億円	274億円
うち残事業分	43億円	97億円	140億円
基準年における 現在価値（C）	96億円	75億円	170億円
うち残事業分	37億円	33億円	70億円

② 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	平成27年度			
供用年	平成27年度、平成34年度			
単年便益 (初年便益)	23億円	2.8億円	0.72億円	27億円
基準年における 現在価値（B）	752億円	80億円	34億円	867億円
うち残事業分	333億円	18億円	6.6億円	358億円

③ 結 果

費用便益比（事業全体）	5.1
経済的純現在価値（事業全体）	697億円
経済的内部収益率（事業全体）	24.7%
費用便益比（残事業）	5.1
経済的純現在価値（残事業）	288億円
経済的内部収益率（残事業）	26.5%

注）費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感 度 分 析

【事業全体】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B／C）
交通量	24,000～38,200	±10%	4.9～6.0
事業費	94億円	±10%	5.0～5.3
事業期間	15年	±20%	5.0～5.2

【残事業】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B／C）
交通量	24,000～38,200	±10%	4.4～5.4
事業費	43億円	±10%	4.8～5.4
事業期間	6年	±20%	4.9～5.3

交通状況の変化

事業名 小松バイパス

(事業全体)

(推計時点 H 4 2 年)

			整備なし (A)	整備あり (B)
①新設・改築道路 [小松バイパス] : 15. 6km	交通量※1	[台/日]	25, 300	32, 700
	走行時間※2	[分]	24	18
	走行時間費用※3	[億円/年]	114. 90	107. 09
(1) 国道 305号 : 13. 7km	交通量	[台/日]	14, 100	13, 200
	走行時間	[分]	26	26
	走行時間費用	[億円/年]	64. 72	58. 90
	交通量	[台/日]	8, 300	3, 000
	走行時間	[分]	12	9
	走行時間費用	[億円/年]	18. 63	5. 18
(2) (一) 津 波倉寺井 線 : 5. 6km	交通量	[台/日]	13, 200	11, 700
	走行時間	[分]	16	15
	走行時間費用	[億円/年]	34. 08	28. 57
(3) (主) 小 松加賀線 ※4 : 8. 9km	交通量	[台/日]		
	走行時間	[分]		
	走行時間費用	[億円/年]		
③その他道路合計 L=1137. 1km	走行時間費用	[億円/年]	3, 160. 45	3, 153. 55
合計 : 1180. 9km			走行時間費用 整備なし (A) 3, 392. 78	走行時間費用 整備あり (B) 3, 353. 29
			走行時間短縮便益 (A－B) 39. 49	

- ※ 1 : 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。
- ※ 2 : 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。
- ※ 3 : 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。
- ※ 4 : 当該事業により大きな変化が生じる道路について 3 ～ 5 路線程度以内で記載する。
- ※ 5 : ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

交通状況の変化

事業名 小松バイパス

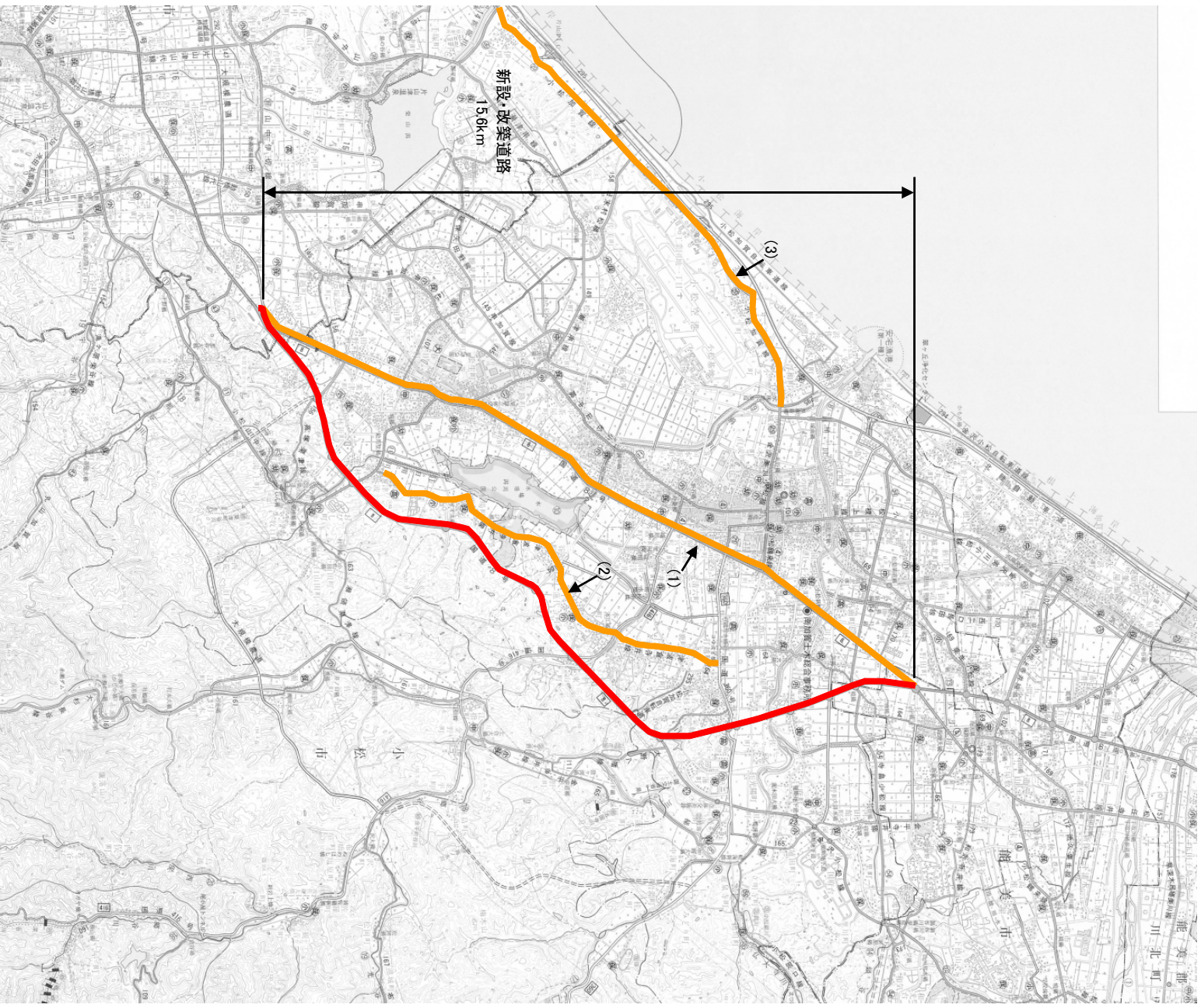
(残事業)

(推計時点 H 4 2 年)

			整備なし (A)	整備あり (B)
①新設・改築道路 [小松バイパス] : 15.6km	交通量※1	[台/日]	31,300	32,700
	走行時間※2	[分]	21	18
	走行時間費用※3	[億円/年]	119.09	107.09
(1) 国道 305号 : 13.7km	交通量	[台/日]	13,400	13,200
	走行時間	[分]	26	26
	走行時間費用	[億円/年]	59.63	58.90
	交通量	[台/日]	2,700	3,000
	走行時間	[分]	9	9
	走行時間費用	[億円/年]	4.75	5.18
	交通量	[台/日]	12,200	11,700
	走行時間	[分]	15	15
②主な周 辺道路※4 : 8.9km	走行時間費用	[億円/年]	30.58	28.57
(3) (主)小 松加賀線 : 8.9km	走行時間	[分]		
③その他道路合計 L=1137.1km	走行時間費用	[億円/年]	3,159.86	3,153.55
合計 : 1180.9km			3,373.91	3,353.29
				20.62

- ※ 1 : 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。
- ※ 2 : 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。
- ※ 3 : 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。
- ※ 4 : 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。
- ※ 5 : ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること



費用便益分析の条件

事業名： 小松バイパス

(2)

項目		チェック欄
算出マニユアル	費用便益分析マニユアル (平成20年11月 国土交通省 道路局 都市・地域整備局)	☒
	その他	☐
	分析対象期間	50年
	社会的割引率	4%
	基準年次	H27年
分析の基本的事項	1時点のみ推計	☐
	複数時点での推計	☒ (H17、42)
	整備の有無それぞれで交通流を推計	☒
	整備の有無のいずれかのみ推計	☐ 有 ☐ 無
	いずれかのみ推計の場合	
推計の状況	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	☒ (H17年センサス)
	パースントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	☐
	その他 ()	☐
	無	☒
	有	☐
開発交通量の考慮	有の場合のみ	考慮した開発交通量(トリップ数) ()台トリップ/日
	Q-V式を用いた配分	☐
	転換率式を用いた配分	☐
	Q-V式と転換率式の併用による配分	☒
	均衡配分(リンクパワース関数を用いた配分)	☐
配分交通量の推計手法	簡易手法	☐
	簡易手法の採用理由	小規模事業である 山間部海岸部で併行道路が少ない その他 ()
	簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)	
	その他 ()	☐
	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付けして設定	☐
速度設定の考え方	採用理由を記載	
	最終配分の速度	☐
	採用理由を記載	
その他(最終配分でQoを超える場合、実態に即した速度で補正)		☒

事業名: 小松バイパス

$$(\omega)$$

項目		チェック欄
休日交通の影響	考慮しない	☒
	考慮する	☐
	面的に考慮	☐
	対象路線のみ考慮	☐
	採用した休日係数 休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載 () %	
災害等による通行止めの影響	考慮しない	☒
	考慮する	☐
	採用した通行止め日数 採用した通行止め日数の考え方を記載	() 日
	とり止め交通を考慮する とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載	☐
	考慮する 場合のみ	☐
冬期交通の影響	考慮しない	☐
	考慮する	☒
	採用した冬期日数(年あたり) 採用した冬期日数の考え方を記載	(85) 日
	降雪が最初に観測された日から最後に観測された日までの日数(85日)及び降雪日数(29日)を考慮	
	冬期の走行速度と交通容量の関係 設定の考え方を記載	
交通流推計の時点以外の便益の算定	プロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定 その他 ()	☒ ☐
	費用便益分析マニュアルの値を使用 独自に設定した値を使用 算出根拠を添付すること	☒ ☐
	費用便益分析マニュアルの値を使用 独自に設定した値を使用 算出根拠を添付すること	☒ ☐
車種別走行経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用 独自に設定した値を使用 算出根拠を添付すること	☒ ☐
	中央分離帯の有無を考慮 中央分離帯の有無を考慮しない	☐ ☒
	考慮しない 考慮する (考慮の場合、算出根拠を添付すること)	☐ ☒ ☐
走行経費減少・走行時間短縮・走行経費減少以外の便益		
その他		

事業名： 小松バイパス

(4)

項目		チェック欄
事業費	詳細事業計画による値を採用	☐
	標準投資パターンを採用	☐
	その他(概略事業計画による値を採用)	☒
	維持管理費の設定根拠を記載	
	北陸地方整備局管内直轄路線の実績値から設定	
維持管理費	積雪地域または寒冷地域である	☒
当該道路整備が行われない場合の費用	考慮しない	☒
	考慮する	☐
	事業費を考慮	☐
	維持管理費を考慮	☐
	当該道路整備が行われない場合の費用を考慮した理由及び考え方を記載(対策内容、費用等)	
その他		
4. その他		

費用の現在価値算定表

箇所名：小松バイパス(事業全体)

箇所名: 小松バイパス(事業全体)

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)	
単価(億円)	延長(km)
0.269	15.6
	単純価値(億円)
	4.19

年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純価値	現在価値	単純価値	現在価値
-8年目	H 19	1.3686	97.6	0.19	0.24		
-7年目	H 20	1.3159	96.8	2.48	3.07		
-6年目	H 21	1.2653	95.6	6.62	7.98		
-5年目	H 22	1.2167	93.7	6.81	8.06		
-4年目	H 23	1.1699	92.1	7.33	8.49		
-3年目	H 24	1.1249	91.3	17.81	19.99		
-2年目	H 25	1.0816	91.1	4.86	5.25		
-1年目	H 26	1.0400	91.1	4.38	4.56		
供用開始年次	H 27	1.0000	91.1	0.74	0.74	1.94	
1年目	H 28	0.9615	91.1	5.56	5.34	1.94	
2年目	H 29	0.9246	91.1	7.04	6.51	1.94	
3年目	H 30	0.8890	91.1	7.41	6.59	1.94	
4年目	H 31	0.8548	91.1	7.50	6.41	1.94	
5年目	H 32	0.8219	91.1	7.50	6.16	1.94	
6年目	H 33	0.7903	91.1	7.78	6.15	1.94	
7年目	H 34	0.7599	91.1			3.88	
8年目	H 35	0.7307	91.1			3.88	
9年目	H 36	0.7026	91.1			3.88	
10年目	H 37	0.6756	91.1			3.88	
11年目	H 38	0.6496	91.1			3.88	
12年目	H 39	0.6246	91.1			3.88	
13年目	H 40	0.6006	91.1			3.88	
14年目	H 41	0.5775	91.1			3.88	
15年目	H 42	0.5553	91.1			3.88	
16年目	H 43	0.5339	91.1			3.88	
17年目	H 44	0.5134	91.1			3.88	
18年目	H 45	0.4936	91.1			3.88	
19年目	H 46	0.4746	91.1			3.88	
20年目	H 47	0.4564	91.1			3.88	
21年目	H 48	0.4388	91.1			3.88	
22年目	H 49	0.4220	91.1			3.88	
23年目	H 50	0.4057	91.1			3.88	
24年目	H 51	0.3901	91.1			3.88	
25年目	H 52	0.3751	91.1			3.88	
26年目	H 53	0.3607	91.1			3.88	
27年目	H 54	0.3468	91.1			3.88	
28年目	H 55	0.3335	91.1			3.88	
29年目	H 56	0.3207	91.1			3.88	
30年目	H 57	0.3083	91.1			3.88	
31年目	H 58	0.2965	91.1			3.88	
32年目	H 59	0.2851	91.1			3.88	
33年目	H 60	0.2741	91.1			3.88	
34年目	H 61	0.2636	91.1			3.88	
35年目	H 62	0.2534	91.1			3.88	
36年目	H 63	0.2437	91.1			3.88	
37年目	H 64	0.2343	91.1			3.88	
38年目	H 65	0.2253	91.1			3.88	
39年目	H 66	0.2166	91.1			3.88	
40年目	H 67	0.2083	91.1			3.88	
41年目	H 68	0.2003	91.1			3.88	
42年目	H 69	0.1926	91.1			3.88	
43年目	H 70	0.1852	91.1			3.88	
44年目	H 71	0.1780	91.1			3.88	
45年目	H 72	0.1712	91.1			3.88	
46年目	H 73	0.1646	91.1			3.88	
47年目	H 74	0.1583	91.1			3.88	
48年目	H 75	0.1522	91.1			3.88	
49年目	H 76	0.1463	91.1			3.88	
合 計				94.00	95.54	180.38	

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。

このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。

(投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

費用の現在価値算定表

箇所名：小松バイパス(残事業)

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)						
単価(億円)		延長(km)	単純単価(億円)			
0.253		8.3	2.10			
年次	年度	割戻率	GDP デフレータ	事業費(億円)		維持管理費(億円)
				単純単価	現在単価	
－7年目	H 27	1.0000	91.1			
－6年目	H 28	0.9615	91.1	5.56	5.34	
－5年目	H 29	0.9246	91.1	7.04	6.51	
－4年目	H 30	0.8890	91.1	7.41	6.59	
－3年目	H 31	0.8548	91.1	7.50	6.41	
－2年目	H 32	0.8219	91.1	7.50	6.16	
－1年目	H 33	0.7903	91.1	7.78	6.15	
供用開始年次	H 34	0.7599	91.1			1.94
1年目	H 35	0.7307	91.1			1.94
2年目	H 36	0.7026	91.1			1.42
3年目	H 37	0.6756	91.1			1.37
4年目	H 38	0.6496	91.1			1.31
5年目	H 39	0.6246	91.1			1.26
6年目	H 40	0.6006	91.1			1.21
7年目	H 41	0.5775	91.1			1.17
8年目	H 42	0.5553	91.1			1.12
9年目	H 43	0.5339	91.1			1.94
10年目	H 44	0.5134	91.1			1.04
11年目	H 45	0.4936	91.1			1.94
12年目	H 46	0.4746	91.1			1.94
13年目	H 47	0.4564	91.1			0.92
14年目	H 48	0.4388	91.1			1.94
15年目	H 49	0.4220	91.1			0.85
16年目	H 50	0.4057	91.1			1.94
17年目	H 51	0.3901	91.1			0.82
18年目	H 52	0.3751	91.1			0.79
19年目	H 53	0.3607	91.1			1.94
20年目	H 54	0.3468	91.1			0.70
21年目	H 55	0.3335	91.1			1.94
22年目	H 56	0.3207	91.1			0.67
23年目	H 57	0.3083	91.1			0.65
24年目	H 58	0.2965	91.1			1.94
25年目	H 59	0.2851	91.1			0.58
26年目	H 60	0.2741	91.1			1.94
27年目	H 61	0.2636	91.1			0.55
28年目	H 62	0.2534	91.1			0.51
29年目	H 63	0.2437	91.1			1.94
30年目	H 64	0.2343	91.1			0.49
31年目	H 65	0.2253	91.1			0.47
32年目	H 66	0.2166	91.1			1.94
33年目	H 67	0.2083	91.1			0.44
34年目	H 68	0.2003	91.1			1.94
35年目	H 69	0.1926	91.1			0.39
36年目	H 70	0.1852	91.1			1.94
37年目	H 71	0.1780	91.1			0.37
38年目	H 72	0.1712	91.1			1.94
39年目	H 73	0.1646	91.1			0.33
40年目	H 74	0.1583	91.1			1.94
41年目	H 75	0.1522	91.1			0.32
42年目	H 76	0.1463	91.1			1.94
43年目	H 77	0.1407	91.1			0.31
44年目	H 78	0.1353	91.1			1.94
45年目	H 79	0.1301	91.1			0.30
46年目	H 80	0.1251	91.1			1.94
47年目	H 81	0.1203	91.1			0.28
48年目	H 82	0.1157	91.1			1.94
49年目	H 83	0.1112	91.1			0.26
合 計				42.78	37.16	0.25
						0.22
						32.98
単純事業費計				42.78	97.22	

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。

このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
(投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

便益の現在価値算定表

箇所名：小松バイパス(事業全体)

年次	年度 (基準年)	総走行台キロの年次別伸び率 (北陸プロダ)				割引率 (A)	GDP デフレーター	走行時間短縮便益(億円)					走行経費減少便益(億円)					事故減少便益(億円)		合 計 (億円)	
		乗用車種	小型貨物	普通貨物	全車			乗用車種	小型貨物	普通貨物	① 計	現在価値 ①×(A)	乗用車種	小型貨物	普通貨物	② 計	現在価値 (A)×②	③	現在価値 ③×(A)	便益合計 (①～③)	割引率4%
供用開始年次	H 27	0.99460	0.98179	0.97381	0.99023	1.0000	91.1	11.95	3.20	8.12	23.27	23.27	0.73	0.31	1.73	2.78	2.78	0.72	0.72	26.76	26.76
1年目	H 28	0.99457	0.98145	0.97310	0.99014	0.9615	91.1	11.88	3.14	7.90	22.92	22.04	0.73	0.30	1.69	2.72	2.61	0.71	0.68	26.35	25.34
2年目	H 29	0.99454	0.98110	0.97236	0.99004	0.9246	91.1	11.82	3.08	7.68	22.58	20.88	0.72	0.30	1.64	2.66	2.46	0.70	0.65	25.95	23.99
3年目	H 30	0.99451	0.98074	0.97157	0.98994	0.8890	91.1	11.75	3.02	7.47	22.24	19.77	0.72	0.29	1.59	2.61	2.32	0.70	0.62	25.54	22.71
4年目	H 31	0.99448	0.98036	0.97074	0.98984	0.8548	91.1	11.69	2.96	7.25	21.90	18.72	0.72	0.29	1.55	2.55	2.18	0.69	0.59	25.14	21.49
5年目	H 32	0.99445	0.97997	0.96986	0.98973	0.8219	91.1	11.62	2.90	7.03	21.55	17.72	0.71	0.28	1.50	2.49	2.05	0.68	0.56	24.73	20.33
6年目	H 33	0.99588	0.98583	0.98106	0.99285	0.7903	91.1	11.58	2.86	6.90	21.33	16.86	0.71	0.28	1.47	2.46	1.94	0.68	0.54	24.47	19.34
7年目	H 34	0.99586	0.98563	0.98070	0.99280	0.7599	91.1	25.72	4.74	12.38	42.85	32.56	2.84	0.32	1.29	4.45	3.38	2.10	1.59	49.40	37.54
8年目	H 35	0.99585	0.98542	0.98032	0.99275	0.7307	91.1	25.62	4.67	12.14	42.43	31.00	2.83	0.32	1.26	4.41	3.22	2.08	1.52	48.92	35.75
9年目	H 36	0.99583	0.98520	0.97992	0.99270	0.7026	91.1	25.51	4.60	11.89	42.01	29.51	2.82	0.31	1.24	4.37	3.07	2.07	1.45	48.44	34.04
10年目	H 37	0.99581	0.98498	0.97951	0.99264	0.6756	91.1	25.40	4.53	11.65	41.59	28.10	2.80	0.31	1.21	4.33	2.92	2.05	1.39	47.97	32.41
11年目	H 38	0.99579	0.98475	0.97908	0.99259	0.6496	91.1	25.30	4.47	11.41	41.17	26.74	2.79	0.30	1.19	4.29	2.78	2.04	1.32	47.49	30.85
12年目	H 39	0.99578	0.98452	0.97864	0.99253	0.6246	91.1	25.19	4.40	11.16	40.75	25.45	2.78	0.30	1.16	4.24	2.65	2.02	1.26	47.01	29.36
13年目	H 40	0.99576	0.98427	0.97817	0.99248	0.6006	91.1	25.08	4.33	10.92	40.33	24.22	2.77	0.30	1.14	4.20	2.52	2.01	1.20	46.54	27.95
14年目	H 41	0.99574	0.98402	0.97768	0.99242	0.5775	91.1	24.98	4.26	10.67	39.91	23.05	2.76	0.29	1.11	4.16	2.40	1.99	1.15	46.06	26.60
15年目	H 42	0.99572	0.98376	0.97717	0.99236	0.5553	91.1	24.87	4.19	10.43	39.49	21.93	2.74	0.29	1.09	4.12	2.29	1.98	1.10	45.58	25.31
16年目	H 43	0.99077	0.99335	1.00200	0.99205	0.5339	91.1	24.64	4.16	10.45	39.25	20.96	2.72	0.28	1.09	4.09	2.18	1.96	1.05	45.30	24.19
17年目	H 44	0.99069	0.99330	1.00200	0.99199	0.5134	91.1	24.41	4.13	10.47	39.02	20.03	2.69	0.28	1.09	4.07	2.09	1.94	1.00	45.03	23.12
18年目	H 45	0.99060	0.99326	1.00200	0.99193	0.4936	91.1	24.18	4.11	10.49	38.78	19.14	2.67	0.28	1.09	4.04	2.00	1.93	0.95	44.75	22.09
19年目	H 46	0.99051	0.99321	1.00199	0.99186	0.4746	91.1	23.95	4.08	10.51	38.54	18.29	2.64	0.28	1.10	4.02	1.91	1.91	0.91	44.47	21.11
20年目	H 47	0.99042	0.99316	1.00199	0.99179	0.4564	91.1	23.72	4.05	10.54	38.31	17.48	2.62	0.28	1.10	3.99	1.82	1.90	0.87	44.20	20.17
21年目	H 48	0.99033	0.99312	1.00198	0.99173	0.4388	91.1	23.49	4.02	10.56	38.07	16.71	2.59	0.27	1.10	3.97	1.74	1.88	0.83	43.92	19.27
22年目	H 49	0.99023	0.99307	1.00198	0.99166	0.4220	91.1	23.26	3.99	10.58	37.83	15.97	2.57	0.27	1.10	3.94	1.66	1.87	0.79	43.64	18.42
23年目	H 50	0.99014	0.99302	1.00198	0.99159	0.4057	91.1	23.03	3.97	10.60	37.60	15.25	2.54	0.27	1.10	3.92	1.59	1.85	0.75	43.36	17.59
24年目	H 51	0.99004	0.99297	1.00197	0.99152	0.3901	91.1	22.80	3.94	10.62	37.36	14.57	2.52	0.27	1.11	3.89	1.52	1.83	0.72	43.09	16.81
25年目	H 52	0.98994	0.99292	1.00197	0.99144	0.3751	91.1	22.58	3.91	10.64	37.13	13.93	2.49	0.27	1.11	3.87	1.45	1.82	0.68	42.81	16.06
26年目	H 53	0.98984	0.99287	1.00196	0.99137	0.3607	91.1	22.35	3.88	10.66	36.89	13.31	2.47	0.26	1.11	3.84	1.39	1.80	0.65	42.53	15.34
27年目	H 54	0.98973	0.99282	1.00196	0.99129	0.3468	91.1	22.12	3.85	10.68	36.65	12.71	2.44	0.26	1.11	3.82	1.32	1.79	0.62	42.26	14.65
28年目	H 55	0.98963	0.99277	1.00196	0.99122	0.3335	91.1	21.89	3.83	10.70	36.42	12.14	2.42	0.26	1.12	3.79	1.26	1.77	0.59	41.98	14.00
29年目	H 56	0.98952	0.99272	1.00195	0.99114	0.3207	91.1	21.66	3.80	10.72	36.18	11.60	2.39	0.26	1.12	3.77	1.21	1.76	0.56	41.70	13.37
30年目	H 57	0.98941	0.99266	1.00195	0.99106	0.3083	91.1	21.43	3.77	10.74	35.94	11.08	2.36	0.26	1.12	3.74	1.15	1.74	0.54	41.42	12.77
31年目	H 58	0.98929	0.99261	1.00194	0.99098	0.2965	91.1	21.20	3.74	10.76	35.71	10.59	2.34	0.26	1.12	3.72	1.10	1.72	0.51	41.15	12.20
32年目	H 59	0.98918	0.99255	1.00194	0.99090	0.2851	91.1	20.97	3.72	10.79	35.47	10.11	2.31	0.25	1.12	3.69	1.05	1.71	0.49	40.87	11.65
33年目	H 60	0.98906	0.99250	1.00194	0.99081	0.2741	91.1	20.74	3.69	10.81	35.23	9.66	2.29	0.25	1.13	3.67	1.01	1.69	0.46	40.59	11.13
34年目	H 61	0.98894	0.99244	1.00193	0.99073	0.2636	91.1	20.51	3.66	10.83	35.00	9.23	2.26	0.25	1.13	3.64	0.96	1.68	0.44	40.32	10.63
35年目	H 62	0.98881	0.99238	1.00193	0.99064	0.2534	91.1	20.28	3.63	10.85	34.76	8.81	2.24	0.25	1.13	3.62	0.92	1.66	0.42	40.04	10.15
36年目	H 63	0.98870	0.99233	1.00193	0.99056	0.2437	91.1	20.05	3.60	10.87	34.53	8.41	2.21	0.25	1.13	3.59	0.88	1.65	0.40	39.76	9.69
37年目	H 64	0.98859	0.99228	1.00193	0.99048	0.2343	91.1	19.82	3.58	10.89	34.29	8.03	2.19	0.24	1.13	3.57	0.84	1.63	0.38	39.49	9.25
38年目	H 65	0.98848	0.99223	1.00193	0.99040	0.2253	91.1	19.59	3.55	10.91	34.05	7.67	2.16	0.24	1.14	3.54	0.80	1.61	0.36	39.21	8.83
39年目	H 66	0.98837	0.99218	1.00193	0.99032	0.2166	91.1	19.37	3.52	10.93	33.82	7.33	2.14	0.24	1.14	3.52	0.76	1.60	0.35	38.94	8.43
40年目	H 67	0.98826	0.99213	1.00193	0.99024	0.2083	91.1	19.14	3.49	10.95	33.59	7.00	2.11	0.24	1.14	3.49	0.73	1.58	0.33	38.66	8.05
41年目	H 68	0.98815	0.99208	1.00193	0.99016	0.2003	91.1	18.91	3.47	10.97	33.35	6.68	2.09	0.24	1.14	3.47	0.69	1.57	0.31	38.39	7.69
42年目	H 69	0.98804	0.99203	1.00193	0.99008	0.1926	91.1	18.69	3.44	11.00	33.12	6.38	2.06	0.23	1.15	3.44	0.66	1.55	0.30	38.11	7.34
43年目	H 70	0.98793	0.99198	1.00193	0.99000	0.1852	91.1	18.46	3.41	11.02	32.89	6.09	2.04	0.23	1.15	3.42	0.63	1.54	0.28	37.84	7.01
44年目	H 71	0.98782	0.99193	1.00193	0.98992	0.1780	91.1	18.24	3.38	11.04	32.66	5.81	2.01	0.23	1.15	3.39	0.60	1.52	0.27	37.57	6.69
45年目	H 72	0.98771	0.99188	1.00193	0.98984	0.1712	91.1	18.01	3.35	11.06	32.43	5.55	1.99	0.23	1.15	3.37	0.58	1.51	0.26	37.30	6.39
46年目	H 73	0.98760	0.99183	1.00193	0.98976	0.1646	91.1	17.79	3.33	11.08	32.20	5.30	1.96	0.23	1.15	3.35	0.55	1.49	0.25	37.03	6.10
47年目	H 74	0.98749	0.99178	1.00193	0.98968	0.1583	91.1	17.57	3.30	11.10	31.97	5.06	1.94	0.23	1.16	3.32	0.53	1.47	0.23	36.76	5.82
48年目	H 75	0.98738	0.99173	1.00193	0.98960	0.1522	91.1	17.34	3.27	11.12	31.74	4.83	1.91	0.22	1.16	3.30	0.50	1.46	0.22	36.50	5.55
49年目	H 76	0.98727	0.99168	1.00193	0.98952	0.1463	91.1	17.12	3.25	11.15	31.51	4.61	1.89	0.22	1.16	3.27	0.48	1.44	0.21	36.23	5.30
合 計								1,019.29	187.21	522.09	1,728.59	752.14	108.45	13.37	60.14	181.96	80.14	81.03	34.32	1,991.58	866.61

便益の現在価値算定表

箇所名：小松バイパス（残事業）

年次	年度 (基準年) H 27	総走行台キロの年次別伸び率 (北陸7ロツク)				割引率 (A)	GDP デフレート 91.1	走行時間短縮便益(億円)					走行経費減少便益(億円)					事故減少便益(億円)		合 計 (億円)	
		乗用車類	小型貨物	普通貨物	全車			乗用車類	小型貨物	普通貨物	① 計	現在価値 ①×(A)	乗用車類	小型貨物	普通貨物	② 計	現在価値 (A)×②	③	現在価値 ③×(A)	便益合計 (①～③)	現在価値 割引率4%
供用開始年次	H 34	0.99586	0.98563	0.98070	0.99280	0.7599	91.1	13.75	2.39	6.18	22.32	16.96	0.55	0.09	0.57	1.21	0.92	0.44	0.34	23.97	18.22
1年目	H 35	0.99585	0.98542	0.98032	0.99275	0.7307	91.1	13.70	2.36	6.06	22.11	16.16	0.55	0.08	0.56	1.19	0.87	0.44	0.32	23.74	17.35
2年目	H 36	0.99583	0.98520	0.97992	0.99270	0.7026	91.1	13.64	2.32	5.94	21.90	15.38	0.55	0.08	0.55	1.18	0.83	0.44	0.31	23.51	16.52
3年目	H 37	0.99581	0.98498	0.97951	0.99264	0.6756	91.1	13.58	2.29	5.81	21.68	14.65	0.55	0.08	0.53	1.16	0.79	0.43	0.29	23.28	15.73
4年目	H 38	0.99579	0.98475	0.97908	0.99259	0.6496	91.1	13.52	2.25	5.69	21.47	13.95	0.54	0.08	0.52	1.15	0.75	0.43	0.28	23.05	14.97
5年目	H 39	0.99578	0.98452	0.97864	0.99253	0.6246	91.1	13.47	2.22	5.57	21.26	13.28	0.54	0.08	0.51	1.13	0.71	0.43	0.27	22.82	14.25
6年目	H 40	0.99576	0.98427	0.97817	0.99248	0.6006	91.1	13.41	2.18	5.45	21.04	12.64	0.54	0.08	0.50	1.12	0.67	0.42	0.25	22.58	13.56
7年目	H 41	0.99574	0.98402	0.97768	0.99242	0.5775	91.1	13.35	2.15	5.33	20.83	12.03	0.54	0.08	0.49	1.10	0.64	0.42	0.24	22.35	12.91
8年目	H 42	0.99572	0.98376	0.97717	0.99236	0.5553	91.1	13.30	2.11	5.21	20.62	11.45	0.54	0.08	0.48	1.09	0.61	0.42	0.23	22.12	12.28
9年目	H 43	0.99077	0.99335	1.00200	0.99205	0.5339	91.1	13.17	2.10	5.22	20.49	10.94	0.53	0.08	0.48	1.09	0.58	0.41	0.22	21.99	11.74
10年目	H 44	0.99069	0.99330	1.00200	0.99199	0.5134	91.1	13.05	2.09	5.23	20.36	10.45	0.53	0.07	0.48	1.08	0.55	0.41	0.21	21.85	11.22
11年目	H 45	0.99060	0.99326	1.00200	0.99193	0.4936	91.1	12.93	2.07	5.24	20.24	9.99	0.52	0.07	0.48	1.08	0.53	0.41	0.20	21.72	10.72
12年目	H 46	0.99051	0.99321	1.00199	0.99186	0.4746	91.1	12.81	2.06	5.25	20.11	9.54	0.52	0.07	0.48	1.07	0.51	0.40	0.19	21.58	10.24
13年目	H 47	0.99042	0.99316	1.00199	0.99179	0.4564	91.1	12.68	2.04	5.26	19.98	9.12	0.51	0.07	0.48	1.07	0.49	0.40	0.18	21.45	9.79
14年目	H 48	0.99033	0.99312	1.00198	0.99173	0.4388	91.1	12.56	2.03	5.27	19.86	8.71	0.51	0.07	0.48	1.06	0.47	0.40	0.17	21.32	9.35
15年目	H 49	0.99023	0.99307	1.00198	0.99166	0.4220	91.1	12.44	2.02	5.28	19.73	8.33	0.50	0.07	0.49	1.06	0.45	0.39	0.17	21.18	8.94
16年目	H 50	0.99014	0.99302	1.00198	0.99159	0.4057	91.1	12.31	2.00	5.29	19.60	7.95	0.50	0.07	0.49	1.05	0.43	0.39	0.16	21.05	8.54
17年目	H 51	0.99004	0.99297	1.00197	0.99152	0.3901	91.1	12.19	1.99	5.30	19.48	7.60	0.49	0.07	0.49	1.05	0.41	0.39	0.15	20.91	8.16
18年目	H 52	0.98994	0.99292	1.00197	0.99144	0.3751	91.1	12.07	1.97	5.31	19.35	7.26	0.49	0.07	0.49	1.04	0.39	0.38	0.14	20.78	7.79
19年目	H 53	0.98984	0.99287	1.00196	0.99137	0.3607	91.1	11.95	1.96	5.32	19.23	6.93	0.48	0.07	0.49	1.04	0.38	0.38	0.14	20.65	7.45
20年目	H 54	0.98973	0.99282	1.00196	0.99129	0.3468	91.1	11.82	1.94	5.33	19.10	6.62	0.48	0.07	0.49	1.04	0.36	0.38	0.13	20.51	7.11
21年目	H 55	0.98963	0.99277	1.00196	0.99122	0.3335	91.1	11.70	1.93	5.34	18.97	6.33	0.47	0.07	0.49	1.03	0.34	0.37	0.12	20.38	6.80
22年目	H 56	0.98952	0.99272	1.00195	0.99114	0.3207	91.1	11.58	1.92	5.35	18.85	6.04	0.47	0.07	0.49	1.03	0.33	0.37	0.12	20.24	6.49
23年目	H 57	0.98941	0.99266	1.00195	0.99106	0.3083	91.1	11.46	1.90	5.36	18.72	5.77	0.46	0.07	0.49	1.02	0.32	0.37	0.11	20.11	6.20
24年目	H 58	0.98929	0.99261	1.00194	0.99098	0.2965	91.1	11.33	1.89	5.37	18.59	5.51	0.46	0.07	0.49	1.02	0.30	0.36	0.11	19.98	5.92
25年目	H 59	0.98918	0.99255	1.00194	0.99090	0.2851	91.1	11.21	1.87	5.38	18.47	5.27	0.45	0.07	0.49	1.01	0.29	0.36	0.10	19.84	5.66
26年目	H 60	0.98906	0.99250	1.00194	0.99081	0.2741	91.1	11.09	1.86	5.39	18.34	5.03	0.45	0.07	0.50	1.01	0.28	0.36	0.10	19.71	5.40
27年目	H 61	0.98894	0.99244	1.00193	0.99073	0.2636	91.1	10.97	1.85	5.40	18.22	4.80	0.44	0.07	0.50	1.00	0.26	0.35	0.09	19.57	5.16
28年目	H 62	0.98881	0.99238	1.00193	0.99064	0.2534	91.1	10.84	1.83	5.41	18.09	4.58	0.44	0.07	0.50	1.00	0.25	0.35	0.09	19.44	4.93
29年目	H 63	0.98870	0.99233	1.00193	0.99056	0.2437	91.1	10.72	1.82	5.42	17.96	4.38	0.43	0.07	0.50	1.00	0.24	0.35	0.08	19.31	4.70
30年目	H 64	0.98859	0.99228	1.00193	0.99048	0.2343	91.1	10.60	1.80	5.44	17.84	4.18	0.43	0.06	0.50	0.99	0.23	0.34	0.08	19.17	4.49
31年目	H 65	0.98848	0.99223	1.00193	0.99040	0.2253	91.1	10.48	1.79	5.45	17.71	3.99	0.42	0.06	0.50	0.99	0.22	0.34	0.08	19.04	4.29
32年目	H 66	0.98837	0.99218	1.00193	0.99032	0.2166	91.1	10.35	1.78	5.46	17.59	3.81	0.42	0.06	0.50	0.98	0.21	0.34	0.07	18.91	4.09
33年目	H 67	0.98826	0.99213	1.00193	0.99024	0.2083	91.1	10.23	1.76	5.47	17.46	3.64	0.41	0.06	0.50	0.98	0.20	0.33	0.07	18.77	3.91
34年目	H 68	0.98815	0.99208	1.00193	0.99016	0.2003	91.1	10.11	1.75	5.48	17.34	3.47	0.41	0.06	0.50	0.97	0.19	0.33	0.07	18.64	3.73
35年目	H 69	0.98804	0.99203	1.00193	0.99008	0.1926	91.1	9.99	1.73	5.49	17.21	3.32	0.40	0.06	0.50	0.97	0.19	0.33	0.06	18.51	3.56
36年目	H 70	0.98793	0.99198	1.00193	0.99000	0.1852	91.1	9.87	1.72	5.50	17.09	3.16	0.40	0.06	0.51	0.96	0.18	0.32	0.06	18.38	3.40
37年目	H 71	0.98782	0.99193	1.00193	0.98992	0.1780	91.1	9.75	1.71	5.51	16.97	3.02	0.39	0.06	0.51	0.96	0.17	0.32	0.06	18.25	3.25
38年目	H 72	0.98771	0.99188	1.00193	0.98984	0.1712	91.1	9.63	1.69	5.52	16.84	2.88	0.39	0.06	0.51	0.96	0.16	0.32	0.05	18.12	3.10
39年目	H 73	0.98760	0.99183	1.00193	0.98976	0.1646	91.1	9.51	1.68	5.53	16.72	2.75	0.38	0.06	0.51	0.95	0.16	0.31	0.05	17.98	2.96
40年目	H 74	0.98749	0.99178	1.00193	0.98968	0.1583	91.1	9.39	1.67	5.54	16.60	2.63	0.38	0.06	0.51	0.95	0.15	0.31	0.05	17.86	2.83
41年目	H 75	0.98738	0.99173	1.00193	0.98960	0.1522	91.1	9.27	1.65	5.55	16.48	2.51	0.37	0.06	0.51	0.94	0.14	0.31	0.05	17.73	2.70
42年目	H 76	0.98727	0.99168	1.00193	0.98952	0.1463	91.1	9.15	1.64	5.56	16.35	2.39	0.37	0.06	0.51	0.94	0.14	0.30	0.04	17.60	2.57
43年目	H 77	0.98716	0.99163	1.00193	0.98944	0.1407	91.1	9.04	1.62	5.57	16.23	2.28	0.36	0.06	0.51	0.93	0.13	0.30	0.04	17.47	2.46
44年目	H 78	0.98705	0.99158	1.00193	0.98936	0.1353	91.1	8.92	1.61	5.58	16.11	2.18	0.36	0.06	0.51	0.93	0.13	0.30	0.04	17.34	2.35
45年目	H 79	0.98694	0.99153	1.00193	0.98928	0.1301	91.1	8.80	1.60	5.59	15.99	2.08	0.35	0.06	0.51	0.93	0.12	0.29	0.04	17.22	2.24
46年目	H 80	0.98683	0.99148	1.00193	0.98920	0.1251	91.1	8.69	1.58	5.61	15.88	1.99	0.35	0.06	0.52	0.92	0.12	0.29	0.04	17.09	2.14
47年目	H 81	0.98672	0.99143	1.00193	0.98912	0.1203	91.1	8.57	1.57	5.62	15.76	1.90	0.35	0.06	0.52	0.92	0.11	0.29	0.03	16.96	2.04
48年目	H 82	0.98661	0.99138	1.00193	0.98904	0.1157	91.1	8.46	1.56	5.63	15.64	1.81	0.34	0.06	0.52	0.91	0.11	0.29	0.03	16.84	1.95
49年目	H 83	0.98650	0.99133	1.00193	0.98896	0.1112	91.1	8.34	1.54	5.64	15.52	1.73	0.34	0.06	0.52	0.91	0.10	0.28	0.03	16.72	1.86
合 計								561.75	94.86	273.68	930.30	333.37	22.62	3.40	25.16	51.18	18.09	18.09	6.57	999.57	358.04

路線名	箇所名	車線数	延長
小松バイパス	石川県能美市大長野町～加賀市箱宮町	4	15.6km

■事業費内訳【事業全体】

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①工事費					9,170	
改良費					3,686	
		土工	m ³	609,466	1,090	盛土(72,974m ³)、切土(284,001m ³)、捨土(252,491m ³)
		法面工	m ²	45,281	111	盛土法面(15,427m ²)、切土法面(29,854m ²)
		擁壁工	式	1	1,515	
		管渠工	m	1,677	20	
		函渠工	m	334	14	
		排水工	m	34,045	524	
		中央分離帯工	m	12,352	300	
		雑工	式	1	112	
		橋梁費				
					3,679	
		100m以上	m	796	2,325	
		100m未満	m	524	1,354	
		IC・JCT費				
					102	
		IC	箇所	10	102	
		舗装費				
					1,388	
		車道舗装	m ²	139,564	1,388	
		歩道舗装	m ²	198	1	
		付帯施設費				
					314	
		交通管理施設工	式	1	314	
		遮音壁	m			
③間接経費			式	1	830	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
全体事業費					10,000	

路線名	箇所名	車線数	延長
小松バイパス	石川県能美市大長野町～加賀市箱宮町	4	15.6km

■ 事業費内訳 【残事業】

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①工事費					4,469	
改良費					1,212	
	土工		m ³	58,114	198	盛土(36,781m ³)、切土(16,739m ³)
	法面工		m ³	11,870	733	盛土法面(6,502m ²)
	擁壁工		式	1	68	
	管渠工		m	1,518	16	
	函渠工		m			
	排水工		m	7,818	119	
	中央分離帯工		m	3,450	59	
	雑工		式	1	20	
橋梁費					2,530	
	100m以上		m	796	1,564	
	100m未満		m	524	967	
IC・JCT費					31	
	IC		箇所		31	
舗装費					587	
	車道舗装		m ²	60,140	587	
付帯施設費					109	
	交通管理施設工		式	1	109	
③間接経費			式	1	151	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
全体事業費					4,620	

【事業全体】

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道8号	小松バイパス	4	15.6km

■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	15.6	4,950	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	16,000	路面補修、構造物の点検・補修等
その他	式			
維持管理費合計			20,950	

【残事業】

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道8号	小松バイパス	4	8.3km

■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	8.3	2,550	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	7,950	路面補修、構造物の点検・補修等
その他	式			
維持管理費合計			10,500	

【単価等について】

○維持管理費は、当該道路周辺地域における直轄国道の維持管理等に要する実績経費に基づき算出。